

## |||| ニュース ||||

## ＜第28回学術講演会（JASMAC-28）開催報告＞

河南 治

本年度の学術講演会は、2014年11月26日（水）～28日（金）の3日間の日程で、姫路のイーグレひめじで開催され、112名もの方々にご参加を頂きました。前回の東京・芝浦工業大学での開催に引き続き、今回の講演会でも一般講演、ポスター講演に加え、市民向けの公開講演（小・中学生対象）を企画致しました。この公開講演は、2015年7月に神戸にて開催されるISTS国際会議の地元事業実行委員会との共催事業としての側面も持たせ、ISTS地元事業実行委員会、姫路市教育委員会、姫路市コンベンションビューローからご支援を頂きました。また、公開講座会場での展示に対してJAXA殿より多大なるご支援を頂きました。

初日には、学会員の皆様の一般講演が行われました。また、その日の夕方に小・中学生向け公開講演として、下記の題目で微小重力環境および宇宙環境利用に関する講演がありました。

「国際宇宙ステーションと宇宙実験のお話」田丸晴香（JAXA）

「無重力の世界」河南 治（兵庫県立大学）

この公開講演は、ISTS地元実行委員会からの支援を受け、姫路市全小学生にチラシを配布（3万枚以上！）し、公開講演開催の周知を行いました。この広報活動が功を奏し、予想を遥かに上回る事前予約（定員320名）を頂き、多数の方々をお断りしなければならないという状

況でした。当日は欠席された方もいましたが、280人以上の小学生とその保護者の方々が来場され、大盛況となりました。講演開始までの間、多くの展示物や、JAXAの宇宙ステーション関連動画を来場者は楽しんでいました。各講演のあとには、小学生から多くの質問があり、さらに、講演終了後も小学生たちが質問しに壇上まで来てくれたのには驚くとともに大変嬉しく思いました。このような市民に対する啓蒙活動は今後のJASMAにとって、ますます重要になると感じました。



毛利ポスター発表の一コマ



JAXA 田丸晴香氏による公開講演の様子



懇親会にて

兵庫県立大学大学院 工学研究科 機械系工学専攻  
〒671-2280 兵庫県姫路市書写 2167  
(e-mail: kawanami@eng.u-hyogo.ac.jp)

二日目は、一日目に続いて一般講演が行われるとともに、午後からは、兵庫県立大学高度産業技術研究所の内海裕一教授による特別公演「放射光を用いた微細加工 (LIGA) とその応用」が行われました。放射光施設 NewSUBARU のビームラインを利用した独特な微細加工技術と、流体デバイスや遺伝子解析デバイスなどへの具体的な応用例をお話頂きました。その後、今回初めての試みとなる、特別セッション「宇宙環境利用科学の将来展望と JASMA の役割」が行なわれました。学会員にとって将来に大きく関わる話題であり、活発な議論が交わされました。

同日の「毛利ポスターセッション」では、39 件のポスター発表があり、毛利衛宇宙飛行士にも採点に加わっていただき、熱気あふれるセッションとなりました。

二日目の夜は、イーグレひめじ内のカフェテリアにて懇親会を開催いたしました。平成の大改修後のグラウンド

オープンを抑えた世界遺産姫路城の夜景を堪能できる会場で、講演会と同様に多数の方々にご参加頂きましたことをうれしく思います。

最終日には、浮遊・燃焼に関連した研究の一般講演が行われました。続いて、学会賞授与式と受賞講演が行なわれました。学会賞には元学会長の東久雄先生が、論文賞には学習院大学の水野章敏先生が、貢献賞にはダイヤモンドエアサービス株式会社がそれぞれ受賞されました。詳細は別報の「表彰報告」をご参照ください。その後、総会に続いて学生航空機実験と毛利ポスター発表の表彰式が行なわれました。毛利さんと学生たちの記念撮影ではみんな良い顔をしていたのが印象的でした。

最後になりますが、今回の講演会の開催に当たり、プログラム編成委員の方々や JASMA 事務局の田尻麻奈様に多大なるご協力を頂きましたことを御礼申し上げます。



集合写真